

令和6年度授業研究の充実に係る校内研究報告書

第1回

実施日	実施時間	学年	講師肩書等	講師氏名
令和6年5月15日	14:00~16:00	全学年	臨床心理士(SC)	廣瀬 信慶
内容、成果等	<p>テーマ:「不登校」の現在とその支援 内容・成果等:不登校の予防のための「発達支援的な指導」についてご講演いただき、どんな生徒にも分かりやすいユニバーサルデザイン的な指導の例を知ることができた。また、教育相談的な対応の際に心がけるべき枠組み(時間やルール等)と、枠組みを基本として「専門家が主導する支援」が重要であるとの指導があり、全教員の意識向上と授業改善につながる内容であった。</p>			

第2回

実施日	実施時間	学年	講師肩書等	講師氏名
令和6年8月28日	10:00~11:30	全学年	巡回相談心理士	細木 俊明
内容、成果等	<p>テーマ:参加型事例検討(特別支援教育) 内容・成果等:特別支援教育的な対応が必要と思われる事例について、教員が小グループを作って協議したのち、全体で共有し、講師からの助言を受けた。事例検討を通して、情報共有および組織的な支援の重要性を改めて認識するとともに、個別最適な学びの実現に向けた授業改善について考えることができた。</p>			

第3回

実施日	実施時間	学年	講師肩書等	講師氏名
令和7年2月12日	14:00~16:00	全学年	日本女子大学特任教授	松尾 廣文
内容、成果等	<p>テーマ:「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究 内容・成果等:新たな授業モデルの構築を目指して、ICT(オクリンクプラス)を活用した研究授業(1学年理科)を実施し、研究協議および講演を通して授業改善に取り組んだ。研究協議では、各教科におけるICTの活用事例を共有した。講師の松尾先生からは、体験的な内容や考えるための技法の重要性とICTとの関連についてご講演いただいた。</p>			